

## 令和2年度第1回鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定・管理委員会（書面開催）での意見について

- ① 委員会の各種団体の代表に自主学習グループやシルバー人材センターの代表、若い世代の代表を加えては

⇒各種団体の代表については、福祉や介護、ボランティア団体など本計画を進行管理する上で、関係のある団体の方に依頼しているところであり、今回も介護労働者の雇用に関係する団体を加えるなど必要な見直しを行ったところです。今後も、いただいた意見も参考にしながら、適宜見直しを行ってまいります。

なお、若い世代につきましては、公募委員には若年層の枠を設けているところです。

- ② 高齢者等実態調査アンケートにおいて、在宅医療の意向について、  
イ 在宅医療を提供している医療機関がわからない（一般高齢者で 15.6%）  
ロ 医療費等の問題から利用できない（一般高齢者で 10.8%）  
これらの結果に対する対応策が必要では

⇒市民のひろばや、講演会を開催するなど、これまでも周知広報に努めてまいりましたが、今後も関係機関と連携を図り、より効果的な周知広報に努めてまいります。

- ③ 2025年に向け、住民を主体とする地域づくりや生きがいくりに関する様々な取組を企画し、要支援・フレイル改善を図っては

⇒介護予防活動の地域展開をするために、住民主体の通いの場において、口腔機能低下予防教室、低栄養予防教室の実施や、よかよか体操の実施により、フレイル対策に努めているところです。今後も地域における住民主体の介護予防活動の充実に努めてまいります。

- ④ 2040年に向け、若年層に介護保険に関心をもってもらうための取組や、生活習慣病の知識の普及啓発、介護離職を防止する社会構築が必要では

⇒介護保険制度については、市政出前トークやパンフレットの配布など行い周知広報に努めているところです。今後も関係機関と連携し、広報・相談体制等の充実に努めることで、健康づくり活動への取組や介護離職防止のための制度の周知広報に努めてまいります。